

こどもと地域の笑顔を増やしたい 社会福祉施設のこどもの居場所開設セミナー
【幼保実践編～聞こう！話そう！子どもの居場所のはじめかた～】

社会福祉法人 聖陽会
スマイルサンみんなの食堂

青森県弘前市浜の町西 4-2
幼保連携型認定こども園 サンこども園
TEL 017-36-4264
FAX 0172-26-8525

青森県弘前市浜の町東 4丁目 2-6
スマイルサンみんなの食堂

社会福祉法人 聖陽会
幼保連携型認定こども園

サンこども園

所在地 : 青森県弘前市浜の町西一丁目 4-2

設立年月日 : 平成 17 年 4 月 1 日

設置主体 : 社会福祉法人 聖陽会

園長 : 毛利シゲ子 職員数 : 22 名

定員 : 90 名



施設の概要

自然界からの恵みをうけて

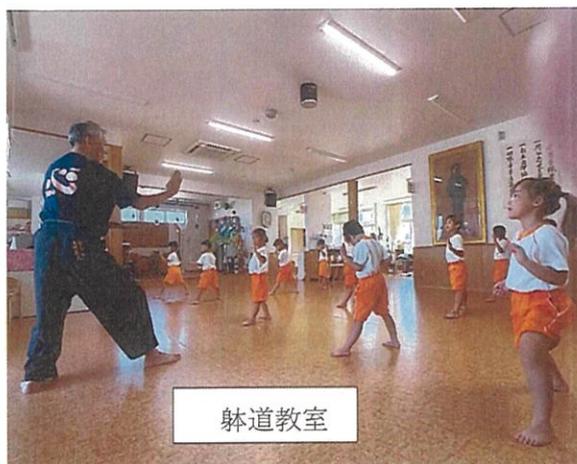
世界遺産「白神山地」の源流から流れる岩木川を眼前に臨み、平成29年4月に新園舎が完成、令和7年4月には園庭増設と新たなステージを迎えました。サンこども園では、幼児期における情緒、つまり「心を育てる」「思いやる心」こそが一貫した基礎作りだと考えております。これからの育成では、自然を思いやり、生き物、動物を思いやる自然界からの生態系の循環を大切にすべきと思っております。保護者の方々と手を取り合い、国際社会に通用できる育成を地域に根ざしつつ「階段」を登っていかれたらと考えています。



令和7年4月 園庭が増設され大喜びの子ども達

保育・教育の特徴

- 1 体験を通して実生活の中から、国際社会に対応できるこども達を育成する。
そのために長年にわたり受け継がれた伝統文化も取り入れ、郷土愛からなる日本文化を理解、多様性からなる世界へと目を向けられるようにお煎茶教室、躰道教室、日本舞踊、書道教室を取り入れております。
- 2 自ら学び、自ら考える力の基礎が育ち、キャンプ体験、果樹狩り、田植え、稲刈り、野菜を育て収穫する（命を頂く）等を通して感動と共に育みたいと考える。



【理念】

- ・ 児童として生きる権利を尊重し一人ひとり生きる喜びを持てるよう地域における家庭援助を行い児童の福祉を積極的に増進する。
- ・ 日本の伝統文化及び地域の伝統を中心とし、それらに参加することにより郷土愛の基礎を育成する。
- ・ 職員は児童一人ひとりの特性に対応をし「子ども主体」にて行うことを理念とし活動します。
- ・ みんなの食堂は、多世代交流を目的とし、誰でも参加できる居場所です。児童は学習支援も行います。利用は無料です。
- ・ 異年齢児の交流を通し、温かな会話も弾み場づくりに努めます。

施設の沿革

<歩みの階段>

平成 17 年 4 月…小規模保育園サン保育園創設

平成 27 年 4 月…幼保連携型認定こども園サンこども園

平成 29 年 4 月…新園舎完成（浜の町西一丁目 4-2）

令和元年 4 月…スマイルサンこども食堂開設（浜の町東四丁目 2-6）

令和 5 年 4 月…スマイルサンみんなの食堂と名称変更となる

スマイルサンみんなの食堂



活動内容

	活動	時間
月	習字教室	16:00～17:30
火	習字教室	16:00～17:30
木	みんなの食堂・学習支援	16:00～18:30
金	習字教室	16:00～17:30

対象者

- ・年齢、性別は問いません
- ・誰でもご利用できます

ねらい

- ・孤食をなくし、楽しく食事をする
- ・自主・自立・協調
- ・思いやりの心を持つ

<資金の確保>

社会福祉法人 聖陽会

<支出項目>

支援費

<令和6年度運営に係る事業内訳>

項目	対象経費	金額
食糧費	食事の材料費	130,500 円
保険料	ボランティア保険	25,200 円

<令和6年度実施回数及び人数>

	開催回数	参加人数
みんなの食堂	45 回	630 名
習字教室	120 回	615 名

【立ち上げのきっかけや思い、これからの願い】

・ぶらぶらしている中学生を食事に誘い2名からのスタートでした。一人は将来相撲を目指し、もう一人はその友達でした。食事もお本物の味（だしのとり方）を味わいながらで4〜5杯はおかわりしてお腹がいっぱいになるまで食べていました。昔ながらのとろろ汁や手打ちうどんなどの食事が多く、子ども達から食事が一番おいしいのはとろろ汁と以外な答えでした。募集を本格的にスタートしパンフレットやちらしなどを作成し現在に至ります。一緒に食べることは「人に思いを寄せるかたち」のひとつ。

一方目を向けると高齢者の方々の買い物、食事の準備等少し家事労力を減らし楽しみの時間を持って頂きたい、「手打ちそば」を配達してのコミュニケーションづくりを現在進行形です。友達がいない、食事は3回から2回になる、引きこもりがちなど様々な現象が高齢者内で起きており深刻な状況である事を知りました。このような事から交流の場を求めて地域のつながりを深めております。地域の居場所となるコミュニティカフェと拡がる事を願い一步一步がこれからの課題となります。

なぜこども食堂だけが注目されているのか。「食事を作ることなら私も毎日やっているから、こども達のためなら私もやってみよう」と参加のハードルが低く見えるからと社会福祉協議会はじめ、様々な団体が種まきしてくれメディアが注目してくれたことが大きいと思う。

【大事にしている事】

・社会生活での教え

「礼にはじまり、礼に終わる」

挨拶の大切さを日々繰り返し知らせ習慣化できるようにしております。

相手を尊重する態度は円滑な人間関係を構築するためには不可欠です。

・地域に根差した伝統食

古くから受け継がれてきた特徴的な食べ物や料理を中心に重点を置く。

冷凍食品を控え手づくりをしています。寄付食品の時もあるのでそこは臨機応変にしている。伝統食…発酵文化（納豆、味噌、醤油） 保存食…漬け物（大根 500 本、白菜、赤かぶ、白株、高菜）

味噌づくりはサンこども園では 20 年前より手作り味噌を作り食べている。

手づくりうどんや手作りクッキングも楽しんでおります。

サンこども園のサンファーム（野菜畑）、やまびこの里。キャンプ場、果樹園



学習支援とは…

食事前に勉強を教えたり、宿題を見たりする無料サポート。子ども達の「居場所」と「学びの機会」を家庭の経済状況に関わらず提供します。

なぜ、学習支援が必要なのか。

○貧困の連鎖の防止

貧困が世代間で連鎖するのを防ぐため、学習する機会を増やしていく。

○家庭環境のサポート

一人親家庭などで十分な学習サポートが受けられない子ども達の切れ目のない支援をする。

○地域での連携

地域の社会資源(フードバンク、NPO、社会福祉協議会)と連携し、支援の輪を広げる。

○ボランティア活動

子ども達の遊び相手や見守り、学習支援、会場設営、食事の準備・配膳・片付けなど多岐にわたります。

活動してくれる方々は弘前大学、弘前南高校、弘前中央高校生のみなさんです。



習字教室とは…

ねらい…どんな環境化におかれても学びたい意欲があれば
等しく学びの場を提供する。

対象者…小学生

料金…お月謝無料です。

お手本代は徴収致します。

教材（墨汁、半紙）無料提供です。

お道具が必要であれば貸し出し致します。

活動日…月、火、金のいずれか利用する。

時間…16:00～17:30

※「学びの場」に求められる事は多様性・主体性・社会とのつながり



スマイルサンみんなの食堂



季節を感じるお弁当

(みんなの食堂と地域の皆様にも配布いたしました)



こども食堂からみんなの食堂へ…

<歩みの階段>

<2019年4月>

スマイルサンこども食堂立ち上げる。2名からスタートする。

<2020年4月>

習字教室開設3名からのスタート

<2024年4月>

スマイルサンみんなの食堂と名称変更。

藤代公民館でそば打ち研修を始める。

<2025年4月>

地域の方々へ「手打ちそば」を配達してのコミュニケーションづくりをスタートする。

<2025年4月現在>

みんなの食堂 登録数 20名

習字教室 利用数 18名



地域の方々に「手打ちそば」をお届け致しました。

【ご清聴ありがとうございました】

【MEMO】